



校長室だより

2026年7月21日
丹波市立進修小学校長

Ⅰ 学期を終えて

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、大きな事故やけがもなく、Ⅰ学期を終えることができました。

4月、子どもたちは期待と少しの不安を胸に新しい学年をスタートさせました。それから約4か月。毎日の授業や学校行事、校外学習、自然学校や修学旅行などの様々な経験を通して、一人一人が確かな成長を見せてくれました。

私は毎朝、校門で子どもたちを迎えています。その中で感じたのは、「できるようになったこと」だけでなく、「人としての成長」です。

困っている友だちにそっと声をかける姿、下級生を気遣う高学年の姿、友達の考えを最後まで聴こうとする姿、自分の役割に責任をもって取り組む姿、失敗してももう一度挑戦しようとする姿…。子どもたちは日々の学校生活の中で、目には見えにくい大切な力を少しずつ育んできました。

本校では今年度、「自ら考え 行動し よりよく生きようとする児童の育成」を学校教育目標に掲げ、「自律を育てる 安心・挑戦・つながり」をキーワードに教育活動を進めています。

子どもたちは、安心できる学級だからこそ自分の思いを伝え、挑戦することができます。そして、友達や先生とのつながりの中で、自分のよさや相手のよさに気づき、自信を育んでいきます。



また、「自己肯定感プロジェクト」の取組を通して、子どもたちが「自分も大切な存在」「友達も大切な存在」と感じられる学校づくりを進めています。自己肯定感は、「自分だけを大切に思う心」ではなく、「自分を大切にできるからこそ、相手も大切にできる心」です。子どもたちの優しさや思いやりの場面が増えてきたことを、大変うれしく感じています。



終業式では、「思いやり」「挑戦」「勇気」「感謝」「笑顔」「助け合い」「学び合い」など、一学期を表すたくさんの言葉を子どもたちに紹介し、その中から自分の心に一番残った言葉の一つを選んでもらいました。



子どもたちが選んだ言葉は、「自分らしく」「チャレンジ」「一生懸命」「助け合い」「人にやさしく」「人を助ける」などなどががんばったこと、成長したことを書いてくれました。自分で成長を自覚できることは素晴らしいことです。成長した自分に自信を持って夏休みを過ごし、2学期につなげてほしいと思います。



いよいよ夏休みが始まります。長い休みだからこそ、学校ではできない様々な体験を通して、家族との時間を大切にし、多くの経験を積んでほしいと願っています。また、「ありがとう」「大丈夫？」「一緒にやろう」といった温かい言葉が、ご家庭でもたくさん交わされる夏休みになれば幸いです。



2学期には、一回り成長した子どもたちの笑顔に会



えることを、
教職員一同楽
しみにしてい

ます。保護者・地域の皆様には、1学期間、本校教育活動への温かいご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。